

年頭の御挨拶 2003年

太田市医師会会長 有坂 實

新年明けましておめでとうございます。 昨年のサッカーW杯での日本チームの大活躍と、ノーベル賞日本人初のダブル受賞は快挙でした。今年の干支は不戦と平和の象徴の如き従順な「羊」です。イラクの次は北朝鮮と真しやかに囁かれておりますが、平和裡に解決され、世界の恒久平和に向かって更に前進致しますよう衷心より祈念致します。

さて日本では、不況とデフレスパイラルが続いております。資産価値が急減しております。企業倒産に歯止めがかかりません。昨年4月と10月からの二度に渡る医療保険改悪のダブルパンチで、医療機関の倒産も今後じわじわ加速しながら増加の一途との物騒なお話が飛び交っております。日本では失業者も急増し過去最高の5%超となりました。失業率の上昇と共に自殺と犯罪も右肩上がり急カーブです。しかし商品は巷に溢れ、しかも安い。方々に百元ショップがオープンし賑わっております。この現在の状況にある高名な経済学者は「ゆでガエル現象」と説明している。残業も減って、じわじわ所得が減少して来ていますが、物価が安くなっているので生活の困窮感が少なく、戦後の食料不足を経験した世代には危機感も希薄です。ただしリストラされて失業して、初めて仕事もなく再就職も甘くなく、日本経済は大変困難な状況に有ることを実感して驚愕し鬱病に陥り、その結果家族を護るため生命保険金目当ての中高年の自殺が急増しているとの事であります。生命保険に加入して一年経てば自殺でも保険金が下りるそうですが、この件に詳しい先生に教えて貰えますれば幸いです。工業都市太田市でも生産企業の空洞化防止が叫ばれて久しい。中国など人件費の安い外国に工場を移して安い競争力のある製品を逆輸入しています。勤め口が益々なくなる。比例して国内の失業率は鰻登りです。医療保険のない人が多くなってます。国保税未納者が太田市で1割を超えて久しい。国民皆保険崩壊の兆しが身近の所から始まっています、それ故保険診療を柱として運営されている医療機関の「ゆでガエル現象」が心配です。最近シネマ「ジョンQ-最後の決断-」を鑑賞し、USAに比べ日本の世界に冠たる「国民平等皆保険」である医療保険制度の素晴らしさを再認識致しました。是非ご一見を！

現在日本中が平成17年3月末日のタイムリミットを視野に入れて合併による広域行政区に関する論議を重ねております。地方選挙絡みの地方も多いと思われれます。この合併問題は前医のS先生がとても詳しく、太田地区の広域行政都市実現に向けての親切なアドバイスを折に触れ頂戴し啓蒙されております。顧みますと、明治四年（1871年）廃藩置県で全国を3府302県とし、中央から府知事・県令を派遣し地方を支配し中央集権を明治政府が確立しましたが、これから実施されようとしている市町村広域合併はこの廃藩置県にも匹敵する大改革と考えられます。130超年前の改革は中央集権でしたが、現代の改革は地方が中心となるための大改革で、廃県置藩とも言える如き明治とは逆の改革の結果、広域地方都市が沢山出来て将来連邦制の如きものが生まれ、日本の主役になる布石と考えます。S先生の仰るように、この重要な時期に医師会は手を拱いては駄目で、合併任意協議会規則にあるように医療福祉の代表として地域住民の保健福祉を益々向上させるため積極的に参加発言すべきと存じます。太田市医師会は行政に先んじて足利市医師会も含む近隣四医師会と積極的に友好協力関係を確立し、将来広域合併にも備えております。

太田市医師会立進学課程高看、太田看護専門学校 of 次年度入試受験者数が注目されております。准看を閉校に致しましたので30名の定員割れが心配されておりますが、小島学校長はじめ必死のPR勧誘努力によりまして、昨年12月の推薦入試の倍率は3倍弱を記録致し、関係者一同ほっとしているところ です。一般入試も定員は満たすべくインターネットホームページ等でもPRしております。全国公募です。ご紹介宜しくお願い致します。

市町村から委託されました今年度各種健診・予防接種等も無事終了し、大変立派な成績を上げました。胃ガン検診平成13年度の成績が纏まりました。受診者総数6955名内施設個別検診2317名、胃ガン発見者数19名内施設個別検診12名でした。10か月児施設個別健診も2年目で軌道に乗り、3か月に一度研究会を開催しております。肺ガンが増えております。県に先駆けて太田地区で肺ガン施設個別検診を立ち上げたいと計画しております。県立ガンセンターの御協力支援を頂き毎月一回胸部読影研究会を開催し準備を始めました。病診連携活動の一環としての成果です。

東毛太田地域産業保健センターの活動の一環として太田市ADSL、BBCOのテレビ電話を活用して、太田商工会議所等にパソコン端末テレビを設置し健康相談等のサービスを開始し、時間の有効利用を実現致しました。「かかりつけ医推進事業」も太田地区で大変な成果を上げました。

新世紀の目玉になると考えられる医療情報委員会の活躍が重要視されております。昨年12月、レセプト電算処理システムとORCAの研究会を開催いたしました。太医でもレセプト提出を2医療機関がフロッピーデスクで行っております。全県で未だ4医療機関のみと聴いております。今後研究会勉強会を一層活発にしてORCA時代にも乗り遅れないよう全委員を先頭に頑張っております。

預金ペイオフ対策に万全を期すべく、理事会では担当理事を中心に先輩の先生方の意見も充分参考に、日夜金融機関の動向に神経を尖らせております。

太田市医師会のシンボルマークがオリジナルデザインとして昨年9月法的使用許可が下りました。今年度中にシンボルマークバッジを創って全会員に配付致します。ご期待下さい！

当会顧問増村雄二郎先生が学校保健会全国表彰を、監事織間利英先生の奥様千恵子様が勲五等瑞宝章に輝きました。今年の当会新年会で盛大にお祝い申し上げます。私が役目柄会長兼務の太田地区救急病院協議会の全国救急功労賞も大変価値ある受賞でした。

昨年も皆様の暖かい御支援御協力を戴き、太医全理事一丸と成りまして全力投球ができました。お陰様で良い仕事を沢山させて戴きました。本年も昨年同様御指導の段、宜しく御願い申し上げます。

最後になりますが、県医・太医皆々様の御健勝、益々の御発展を祈念申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

2003年 羊 元旦